

◆参加報告◆

研修会に参加して

松島 友圭子

今回、日赤図書室協議会研修会に参加させていただき、図書担当としての課題が明確になり、具体的な改善のためのヒントを頂くことができました。

まず1つ目は、管理方法の見直しについてです。蔵書数が多くなるにつれ、現在の書架の分類方法では、利用者が利用しやすい配架とは言えなくなってきていますので、既存の分類を見直し、整理する必要性があると感じました。

2つ目は、レファレンスサービスの充実です。私自身、医学的な知識や専門用語の理解が乏しいために、短時間での検索ができない時があります。研修では、情報の使い分けや検索方法などについて、新しい気づきを得ることができました。今回、学んだことを実践していきながら、経験を積み重ねるとともに、自己研鑽をしていきたいと思います。また、文献検索データベースのマニュアルとガイドについては、現在は図書室にのみ置いていますが、利用者自身の知識を高めるために、配布できるリーフレットの作成を行ってみたいと考えています。

研修会では、委員会活動を含めて、常に“利用者の視点”で考える事の大切さを再認識しました。また、塚越さんの講演の中で紹介された、前橋赤十字病院長 中野 実先生の「できないのではなく、できる方法を考える」ということばが印象に残っています。当院にも年間の業務予定はありますが、日々の業務に追われ、まだ自分に余裕がないのが現状です。定期的な蔵書点検も必要と思いながらも、実施には至っていません。今回の課題として感じたことを実行できるように、年間業務を確認し、「できる方法」を考え、計画的に進めていきたいと思います。

最後に、図書担当者としての経験が浅い私にとっては、各施設の皆さんと話ができた事も、とても有意義であったと感じています。図書担当だからこそ分かり合える業務上の苦労や、取り組みの成果等を話す中で、お互いに共感できる事も多く、とても元気を頂きました。

この2日間の学びを活かし、“利用者にとって利用しやすい”図書室づくりに努力していきたいと思っています。本当にありがとうございました。

MATSUSHIMA Yukako

伊勢赤十字病院 研修センター図書室

TEL : 0596-28-2171 FAX : 0596-65-5303

librarian@ise.jrc.or.jp